自主的環境保全活動の取り組み状況

（事業所名）片倉チッカリン㈱ 姫路工場

1　環境保全活動に関する方針等

１－１　環境保全活動に関する方針

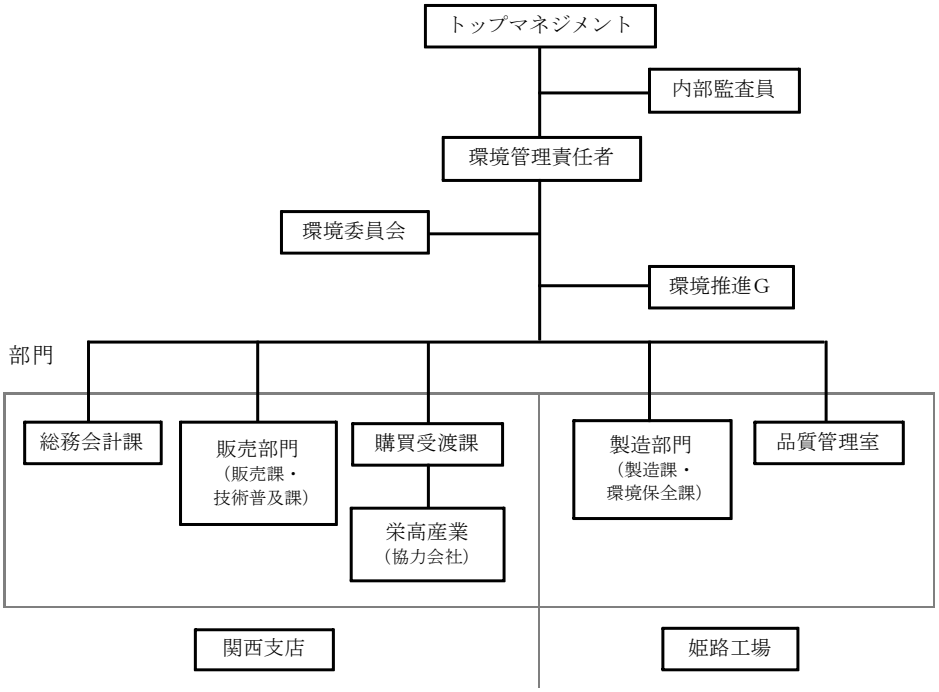
基本理念

当事業所は、地域貢献、環境共生に配慮した販売・生産活動を推進し、環境との調和した活動をおこなう。

環境方針

・豊かな食生活や健康を支える「安全で高品質、おいしい農産物」のニーズに応える有機質肥料にこだわり、農業を通じて環境に貢献する。
・廃棄物の適切な管理と削減、エネルギー軽減、再生資源の利用に努め、環境目的・目標を定め、定期的に見直しを行い継続的改善と汚染の予防に努める。
・環境に関連する法規制および同意するその他の要求事項を順守する。
・環境に関する教育・啓発を行い、全従業員及び協力会社に対し周知する。
・環境管理の維持向上及び、環境マネジメントシステムの継続的見直しをおこなう。
・この環境方針は、必要に応じて公開する。また、環境方針は総務会計課に申し込む事により誰でも入手出来るようにする。

１－２　環境保全活動に関する組織体制



2　環境保全活動の実施状況等

項　目	取組結果	今後の取組計画
廃棄物の適切な管理 〈著しい環境側面〉	生産量の割合と比べると発生量の削減ができた。 目標比 99%達成	紙の分別と排出量の削減 2009 年度を基準に 2012 年度までに 3%削減
廃棄物の適切な管理 〈著しい環境側面〉	紙ごみの一部がポリに変更なったことや生産量の増加により、発生量も増加した。目標比 82%の達成である。	ポリの分別と排出量の削減 2009 年度を基準に 2012 年度までに 3%削減
廃棄物の適切な管理 〈著しい環境側面〉	今期 1 年間、木くずの発生が無かったため、削減率は 100%となった。	木屑の分別と排出量の削減 2009 年度を基準に 2012 年度までに 3%削減
エネルギーの軽減	全部門では目標比 87%達成にとどまった。昼休みの消灯、遊休設備の停止などを行ったが、生産量の増加で設備の電力消費量が増加した。	資源の使用量の削減(電気) 電力量×前年度対比 2009 年度を基準に 2012 年度までに 3%削減
エネルギーの軽減	化成肥料の生産が増えて燃料使用量が増加した。 目標比 83%	資源の使用量の削減(燃料) 燃料量×前年度対比 2009 年度を基準に 2012 年度までに 3%削減
再生資源の利用	副産物の発生量が減少し、年間を通して目標トン数の 70%の達成であった。	副産物の使用による資源の利用 2009 年度を基準に 2012 年度までに 3%使用量の増加
燃料の使用 〈著しい環境側面〉	生産量の増加により使用量が増加した。 達成率は目標比 86%	資源の使用量の削減(軽油) 2009 年度を基準に 2012 年度までに 3%削減
紙使用量の削減	社内資料など印刷用紙の節約により目標比 110%の達成であった。	紙の使用量の削減 2009 年度を基準に 2012 年度までに 3%削減
有機入り製品の営業活動 〈著しい環境側面〉	販売数量を増加することができて、目標に対し 102%の達成になった。	有機入り製品の販売量を 2009 年度を基準に 1%増加

＊目標達成率は2010年度の評価です。